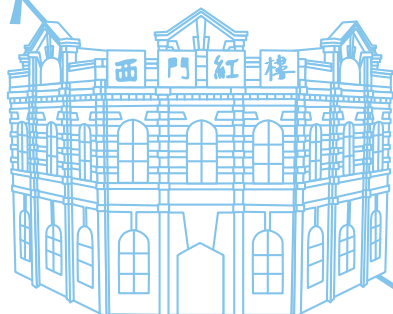


音声ガイドと行く

遊

台北 Taipei



台北トラベルサービスセンター

台北駅 トラベルサービスセンター	住所：台北市北平西路 3 号（台北駅 1 階ロビー西南側） Tel：(02)2312-3256
松山空港 トラベルサービスセンター	住所：台北市敦化北路 340-10 号（松山空港第 2 ターミナルロビー） Tel：(02)2546-4741
MRT 台北 101/ 世貿駅 トラベルサービスセンター	住所：台北市信義路 5 段 20 号地下 1 階（MRT 台北 101/ 世貿駅 5 番出口） Tel：(02)2758-6593
MRT 西門駅 トラベルサービスセンター	住所：台北市宝慶路 32-1 号地下 1 階（MRT 西門駅 5 番出口付近） Tel：(02)2375-3096
MRT 劍潭駅 トラベルサービスセンター	住所：台北市中山北路 5 段 65 号（MRT 劍潭駅 1 番入口右側） Tel：(02)2883-0313
MRT 北投駅 トラベルサービスセンター	住所：台北市光明路 1 号（MRT 北投駅入口左側） Tel：(02)2894-6923
美麗華ビクターセンター	住所：台北市敬業三路 20 号（1 階噴水池広場後方） Tel：(02)8501-2762
梅庭ビクターセンター	住所：台北市中山路 6 号（露天温泉そば） Tel：(02)2897-2647
ロープウェイ猫空駅 ビクターセンター	住所：台北市指南路 3 段 38 巷 35 号（ロープウェイ猫空駅出口） Tel：(02)2937-8563
大稻埕ビクターセンター	住所：台北市迪化街 1 段 44 号（URS44 大稻埕故事工坊内） Tel：(02)2559-6802
MRT 龍山寺駅 トラベルサービスセンター	住所：台北市西園路 1 段 153 号地下 1 階（MRT 龍山寺駅 1 番出口付近） Tel：(02)2302-5903

旅のインフォメーション

台北市民ホットライン：1999（市外からは 02-2720-8889）

台北トラベルネット：www.travel.taipei/jp、中・英・日・韓語による市内観光情報、ならびに外語ガイドシステムおよび宿泊データバンク提供。

台湾旅宿網（タイワンステイネット）：taiwanstay.net.tw（合法宿泊施設が検索できる）

交通部観光局の観光お問い合わせダイヤル：0800-011-765、jp.taiwan.net.tw

交通部観光局の観光クレーム専用ライン：0800-211-734

外国人在台生活相談ホットライン：0800-024-111

Fun Travel in Taipei



Travel Taipei アプリ

iOS



Android



台北市政府
公式 LINE





台北市の歴史は 1884 年に台北城が創建された時から始まりました。台北は台湾の近代史発展の舞台であり、数々の台湾文化や文化的景観を集めて形成されています。台湾で最もインターナショナルな、世界に知られる都市です。

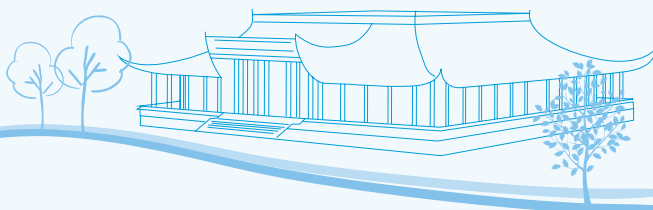
台北市の面積は台湾の他の県や市に比べると決して広いとは言えませんが、多くの文化的景観を擁しています。古跡や文化財、それに博物館の数は全台湾で最も多く、他の都市にはない独特の雰囲気があります。歴史を感じさせる旧市街地と新興のエリアがあり、旅人は新旧が交錯する独特な雰囲気の中で、多様な背景を持つ美食を味わい、年代の異なる建築物を鑑賞し、台北のさまざまな表情に触れることができます。

台北を訪れる皆様のために、台北市観光伝播局は中国語・英語・日本語・韓国語の四ヶ国語の観光スポット音声ガイドをご用意しました。このパンフレットの各観光スポットの QR コードを読み取るか、台北旅遊サイト (<http://www.travel.taipei>) で音声ガイドを聴くことができ、快適に台北の街を歩くことができます。



台北市政府観光伝播局 局長

謝金昇



1



誠品書店敦南店

「24 時間営業」の誠品書店敦南店は、台北特有の文化景観で、多くの観光客が訪れます。洋書も含めて 23 万冊を取り揃えており、文化芸術イベントを開催する他、文具店、音楽専門ショップ、ブティック、クリエイターズショップ、フードコート、レストランなども入っており、単なる書店というより、多様でユニークな芸術文化とクリエイティブ産業のプラットフォームとなっています。



住所：台北市敦化南路 1 段 245 号 Tel：(02) 2775-5977

臨江街観光夜市

臨江街観光夜市は有名な夜市（ナイトマーケット）、またの名を「通化街夜市」と言います。主に服飾やアクセサリ、生活雑貨の店が並び、B 級グルメも有名です。蒸し焼き饅頭（生煎包）、広東風煮込み、オリジナルソーセージ、寿司、ビーフンスープ、豚モツの盛り合わせ、豆花（豆腐プリン）や仙草（葉草ゼリー）などのスイーツも大人気です。夜市の入口にはペットショップ街があり、周辺には名画座の「湍山映画館」、文昌街の家具街もあります。臨江街夜市で台湾の庶民文化を体験してください。

場所：台北市臨江街 Tel：(02)2737-0163



2

3



国立国父記念館

1972 年に竣工した国父記念館は、国父・孫文の生誕百年を記念して建てられました。館内の吹き抜けロビーには、世界最大の孫文のブロンズ像があり、毎日、敬意を表する儀式が行われます。一階の東ホールでは「国父の生涯と事績」、西ホールでは「孫文と台湾」をテーマに展示しています。二階の「中山国家ギャラリー」では内外の芸術作品が鑑賞でき、大ホールではコンサートやイベントが行われます。屋外には散歩にふさわしい緑あふれる中山公園が広がっています。

住所：台北市仁愛路 4 段 505 号
Tel：(02)2758-8008（旧暦大晦日・元旦、機械メンテナンス日は休館）



台北探索館

台北探索館は、二つの十字を並べた形の台北市庁舎にあります。フロアごとに異なるテーマで展示されており、二階の特別展示室では不定期に台北に関連するテーマ展示が開催され、三階にはイラストレーターの徐千舜が描いた壁画があります。四階には楽しい「龍山寺のおみくじ」と、360度大型スクリーンの「ディスカバーシアター」があり、台北の暮らしを紹介するマルチメディア映像が放映されています。入場無料の台北探索館で台北の歴史と文化に触れてください。



住所：台北市市府路1号（市政ビル西大門から入り右手側）
Tel：1999（台北市外からは 02-2720-8889）内線 8630（月曜・祝日休館）



信義商圈

信義商圈は台北市を代表する商業圏で、台北 101 ビルや誠品旗艦店など、台北市の重要なランドマークがあります。このあたりは昼はビジネスセンター、夜になるとファッショナブルな姿に変身するため、台北のマンハッタンと呼ぶことができます。最新デザインを伝えるショーウィンドウや広告看板のどれもがとてもおしゃれで、デパートには世界的なブランドが入り、デザイナーのオリジナル商品もあります。パブリックアートやストリートパフォーマンスも楽しめ、変化に富んだ信義商圈は観光客の聖地となっています。

場所：台北市信義区



台北 101 ビル

2004年に竣工した台北 101 の高さは 508 メートル。高く伸びる竹をイメージした建物です。必ず訪れたいのは、台北市を一望できる 89 階の展望台。ここでは、地震や強風によるビルの揺れを緩和するための装置「ウインドダンパー」が世界で初めて公開されています。夜になると外壁は毎日異なる色でライティングされ、特別な日には文字やマークが映し出されます。台北で最も目を引くランドマークです。

住所：台北市信義路5段7号
Tel：(02)8101-8800



東 EAST





WEST



1



總統府

總統府の建物は、日本が台湾を統治していた 1919 年、権力の象徴として建てられました。日本の優秀な建築家が共同で設計し、ルネッサンス、ゴシック、バロックの各様式を融合しています。毎年 10 月 10 日、中華民国の国慶節には、總統府前の広場でにぎやかなイベントが開催されます。広場はケタガラン大道まで延びており、集会やデモ行進もここで行われます。總統府を見学したい場合は、ネットで開放日を調べ、3 日前にファックスかホームページで予約してください。

住所：台北市重慶南路 1 段 122 号 Tel：(02)2312-0760



北門（承恩門）

清朝末期、台北城は、東、西、南、北、および小南門の五つの城門を擁していました。北門は 1879 年に建てられ、「承恩門」とも呼ばれます。閉鎖型のトーチカ式の建築で、かつては大稻埕に通じる主要な門でした。西門は日本時代に撤去され、戦後には当初の姿を残すのは北門だけになり、国定古跡に指定されています。最近まで、北門は車が往来する高架線に囲まれていましたが、今は「西区門戸プラン」によってその姿を現しました。台北古城の北門を訪れ、昔の台北の姿に触れてみてください。

場所：台北市忠孝西路、博愛路交差点



2

3



台北北門郵便局

台北郵便局の前身は、清の時代の台湾巡撫であった劉銘伝が 1898 年に創設した郵政総局で、北門郵便局とも呼ばれます。日本統治時代に台湾で初めて建てられた郵便局でもあり、百年近い歴史をもつ老建築として市定古跡に指定されています。二階は、郵政博物館の台北北門分館となっていて、円柱状の黄緑色の清代のポストのレプリカや、昔の郵便配達員の自転車などが展示され、不定期に各国の切手の特別展も開催されています。

住所：台北市忠孝西路 1 段 114 号 Tel：(02)2361-5752



MRT 北門駅構内遺跡

MRT 北門駅付近の塔城街一帯で、古跡に指定されているのは機械局東側の塀と四進衙門の壁面の基礎です。機械局は清の時代の台湾巡撫・劉銘伝が洋務運動を推進し、台湾を建設した歴史を教えてください。北門鉄道遺跡には、この他に石壁や門、機械局工場、日本時代の下水道や排水管があり、また板状の石と玉石を敷き詰めた清の時代の石畳もあり、都市の道路建設の歴史を知ることができます。

場所：MRT 北門駅構内



4



撫台街洋楼

百年あまりの歴史を数える撫台街洋楼。今も残る数少ない日本統治時代の商業建築の一つで、「大和町洋楼」ともいいます。外観に石材を使用していることから「石頭厝」と呼ばれることもあります。全体的には欧風建築で、内部は日本式の木造スタイル。かつて大火に見舞われ、現在はミニ博物館として再オープンし、定期的に展示や街歩きガイドなどのイベントを催しています。台北旧城の歴史と文化に触れたい人は、ぜひ訪れたいクラシカルで雅な洋館です。

住所：台北市延平南路 26 号 Tel：(02)2314-8080（日曜定休）



中山堂

1936 年に落成した中山堂は、日本統治時代の「台北公会堂」で、第二次大戦が終わって国民政府が台湾を接収した際には、日本の降伏受領式典がここで行われました。外観はクラシックとモダンを融合したスタイルで、一階のホールでは、かつては国民大会が開かれていましたが、現在は公演会場として使用されています。二階から四階にはレストランがある他、展覽会場やセミナーの会場として使われています。ガイドを務めるボランティアが歴史や建築の特色を紹介してくれます。

住所：台北市延平南路 98 号 Tel：(02)2381-3137



西門町

日本統治時代から繁栄し始めた西門町は、一度は衰退しましたが、1990 年代に歩行者天国が設けられてから、再びにぎわいを取り戻しました。若者に人気の流行文化にあふれる西門町には、「映画街」があります。また、アメリカの古着からヒップホップファッション、スケートボードのアクセサリまで何でもそろい、路地の壁にはグラフィティが描かれた「アメリカ街」、タトゥーやネイルサロンが集まる「タトゥー街」などもあります。西門町には美食家に愛される老舗もたくさんあります。「鴨肉扁」「阿宗麵線」「老天祿」「成都スターフルーツ氷」「蜂大コーヒー」「美觀園」など、一度は味わいたいものばかりです。

場所：台北市成都路、中華路、武昌街、西寧南路エリア



西門紅楼

19 世紀末、西門町は日本人の居住エリアとされ、西門市場が建てられました。红楼はこの市場の入口に当たる建物で、買い物客でにぎわっていました。戦後は台北市の古跡に指定され、2002 年には文化クリエイティブ産業の情報発信地として生まれ変わりました。一階にはカフェがあり、奥のアトリエではオリジナル商品を販売、二階の劇場では、定期的に文化芸術公演が行われています。休日には红楼前の広場でクリエイターズ・マーケットが開かれ、西門町の人気スポットになっています。

住所：台北市成都路 10 号 Tel：(02)2311-9380（月曜定休）





艋舺清水巖祖師廟

清の乾隆年間に建てられた艋舺清水巖祖師廟は、すでに 200 年以上の時を経ており、三峡祖師廟、淡水祖師廟とともに台北三大祖師廟と称されます。廟には数体の清水祖師が祀られ、中でも「蓬萊老祖師」が最も靈驗あらたかだとされています。近くで災難が起こる時、蓬萊老祖師の鼻が自然に落ちて人々にそれを知らせるのだそうです。これが「落鼻祖師（鼻を落とす祖師）」という別名の由来です。祖師廟の、素朴ながら重厚な建築様式には、清代中期の特色がよく現れています。

住所：台北市康定路 81 号 Tel：(02)2371-1517



剥皮寮歴史街区

龍山寺から青草巷を抜けると、両側に赤レンガの壁、アーチ型の柱、飾り窓の付いたクラシックな洋館が続く道があります。「剥皮寮」という、ちょっと変わった名前が付いています。清の時代の街並みがよく保存されていて、64軒が当時のまま残っています。東側にある「台北市郷土教育センター」には、貴重な文物が展示されていて、西側は清代の古い街並み。かつての旅社や茶室も再現されています。外国映画のロケ地にもなり、結婚写真を撮りに来るカップルも少なくありません。

場所：台北市広州街 141 号 Tel：(02)2336-2798



艋舺龍山寺

艋舺（ばんか）——現在の万華は、台北市で最も早く、270 年前から開発された地域で、万華駅近くに艋舺龍山寺があります。龍山寺は 1783 年に建立された当時最大の廟で、靈驗あらたかことで知られ、多くの人が無病息災や良縁、子宝などを祈願しに來ます。龍山寺では伝統建築がよく保存されていて、廟建築の美を目にすることができます。龍山寺の隣には薬草の店が並ぶ青草巷という通りがあり、のどの渇きを癒す薬草茶「青草茶」を味わうことができます。

住所：台北市広州街 211 号 Tel：(02)2302-5162



青草巷

龍山寺の横には「青草巷」があり、狭い路地の両側に、薬草が山のように積み上げられています。どれも老舗ばかりで、店ごとに「秘伝の処方」があると言います。100 年以上前の清の時代、人々は身体の調子が悪ければ、龍山寺へ薬草処方のおみくじを引きに行き、青草巷で薬草を処方してもらいました。今も龍山寺を詣でる人々や多くの観光客が、ここで薬草や特製薬草茶をおみやげに買って帰ります。龍山寺を参拝したら青草巷で暑気払いの青草茶を買い、昔ながらの味を楽しみましょう。

場所：台北市西昌街 224 巷



13



艋舺青山宮

1859年に落成した艋舺青山宮には、青山王とも呼ばれる靈安尊王が祀られています。青山宮は万華の信仰の中心で、毎年旧暦10月23日の青山王聖誕祭の前日に青山王は大通りから路地までを見て回り、人々の平安を守ります。その後、町を練り歩く祭りは、台北市の一大宗教観光イベントです。青山宮は木と石で建てられ、木製の梁、柱、門、窓などは、どれも歴史的価値の高いものばかりです。



住所：台北市貴陽街2段218号 Tel：(02)2382-2296

華西街観光夜市

台湾でいちばん歴史のある夜市と言えば、1951年にできた華西街夜市です。夜市の入り口には中国風の古い牌楼があり、通りの両側に並ぶ店は、どこも評判が高い老舗ばかりで、マッサージ店もたくさんあります。華西街といえば、蛇を売る店が有名ですが、その他に高級ホテル並みの豪華なインテリアの台南担仔麵、そしてバラエティー豊かな庶民の味も外国人に人気です。おなか一杯になったら、近くにある西園路の仏具店街を散歩すると、ちょっと変わった伝統産業にも触れられます。

場所：台北市華西街（貴陽街と広州街の間）



14

15



国立歴史博物館

国立歴史博物館は略称「史博館」、1955年に開設されました。中国の宮殿を模した外観で、魚が泳ぐ池や東屋、蓮池があり、クラシカルな雰囲気味わえます。コレクションは約6万点、中華文化と台湾の文物が中心で、不定期に海外の著名博物館の所蔵品も展示しています。館内の「荷風閣」からは植物園の緑が眺められ、カフェ「荷豊水月」と英国式ティーショップ「Cutty Sark 卡提撒克」でくつろぎながら、歴史の香りを味わうことができます。



住所：台北市南海路49号 Tel：(02)2361-0270（月曜定休）

国立台湾芸術教育館

国立台湾芸術教育館は南海学園エリアに位置します。南海学園エリアにある「南海劇場」は中国古典様式の建物で、さまざまな芸術公演を鑑賞でき、「吟風亭」では美しい睡蓮や鳥を眺めることができます。その先の「南海書院」は日本統治時代には神社があった場所で、今は日本式、中国式、洋式の三つの様式を融合させた建物に改築されていて、芸術教室や図書館、展覧室があります。古今が交錯する味わい深い趣を感じることができます。



住所：台北市南海路47号 Tel：(02)2311-0574（月曜定休）



16



国立中正記念堂

国立中正記念堂は、蒋介石・元総統を記念して建てられました。白い正方形の基礎部分と、鮮やかな青の八角形の屋根は中華民国の国章である「青天白日」を表し、正方形の基礎は蒋介石の本名である「中正」を表しています。また正面の89段の階段は、享年である89を意味しています。ホール天井最上部には「青天白日」の徽章が描かれ、中央に蒋介石像が安置されています。敷地内には国家戯劇院と音楽庁があり、中国式の庭園もあって、多くの観光客が訪れます。

住所：台北市中山南路 21 号 Tel：(02)2343-1100



18 永康商圈

永康公園を中心とした永康商圈は、台北市の優良商業エリアの一つです。日本統治時代、この一帯には日本人の官僚や大学教職員の宿舎が設けられ、独特の文化的雰囲気や育まれました。今では裏通りにアンティークショップや生活雑貨店が軒を連ね、優雅なスロークライフの魅力にあふれています。永康商圈はおいしいものもたくさんあります。有名な小籠包の他に、新鮮なマンゴーを使ったかき氷、牛肉麵や葱抓餅（ネギ入りお焼き）、餃子、各種エスニック料理を楽しむことができます。

場所：台北市永康街、麗水街



大安森林公園

大安森林公園の面積は約26ヘクタール。「台北市の肺」とも呼ばれ、周囲にはコウエンボク、クスノキ、ハクセンコウ、ガジュマル、フウなどが植えられています。園内には、ハーブエリアや竹林エリア、シュロエリアなどがあり、生態池では魚や鳥を観賞することができます。公園内にある持珠観音像は、芸術家の楊英風の作品です。独特なデザインの野外音楽ステージは芸術公演が行われます。このほかに林間歩道やサイクリングコース、広々とした野原もあり、広く市民に親しまれています。

場所：台北市新生南路、信義路



20 光華デジタル新天地

ここでは電子機器やコンピューターの宝探しができるスポット。かつて古本や骨董品、ヒスイなどの業者が軒を並べていた光華商場に、コンピューターや電子製品の業者が加わり、狭い通路はいつも買い物客で賑わうようになりました。2008年に現在の光華デジタル新天地に移転し、台湾最大のデジタル製品マーケットとなっています。隣の「三創デジタル生活パーク」は広々としていて、カメラやオーディオ、ゲームやアニメの愛好家たちに愛されており、親子用の活動スペースも設けられています。

住所：台北市市民大道3段8号 Tel：(02)2391-7105





WEST







1



台北市立動物園

台北市立動物園の動物は四百種以上、昆虫館では台湾固有の蝶が見られる他、人気の「コアラ館」「ペンギン館」があり、またパンダの团团と圆圆と子供の「円仔」にも会えます。86歳まで生きたアジア象の「リンワンイエイエ」は、今は世界最大のアジア象の標本になり、「教育センター」に展示されています。「台湾動物区」では稀少な固有種のタイワンツキノワグマ、タイワンザル、サンケイも見られます。

住所：台北市新光路2段30号

Tel：(02)2938-2300（旧正月の大晦日は休園。各室内展示館の休館日は公式サイトでご確認ください。）



指南宮

指南宮は、台湾では有名な道教の聖地です。一步入ると、正殿に掲げられた「天下第一靈山」という扁額（へんがく）が目に入るでしょう。これは指南宮周辺の山の美しさと厳かさを表現するとともに、ここに祀られる、中国八仙人の中でも有名な「呂洞賓」の靈験を表しています。猫空ロープウェイの沿線にあります。政治大学近くの指南路から、ゆっくりと石段を登っていくこともできます。指南宮を参拝するだけでなく、沿線の動物園や猫空の茶園も訪ねれば、台北盆地の景色を楽しめます。

住所：台北市万寿路115号 Tel：(02)2939-9922



2

3



猫空ロープウェイ

全長4.03キロの猫空ロープウェイは、台北初のロープウェイ路線。片道20分で、「動物園駅」「動物園南駅」「指南宮駅」「猫空駅」の四つの駅があります。乗り方は簡単で、MRT文湖線の終点「動物園駅」で降り、ロープウェイの「動物園駅」へ移動して乗り換えてください。ロープウェイ終点の「猫空駅」周辺には茶畑が広がり、茶芸館が集まっています。ここで地元名産の「木柵鉄観音茶」と「文山包種茶」を味わい、スペシャルディナーを美味しく味わってください。

場所：台北市新光路2段30号

Tel：(02)218-12345（月曜定休、月曜が祝日の場合は営業）



台北水道パーク

台北水道パーク内の台北水道博物館は、1908年に設立された台湾初の近代的水道施設で、当時の電動ポンプや総配電盤、各種メーターなどが保存されています。建物はクラシカルかつ優雅で、多くの新婚カップルが結婚写真の撮影に訪れます。行楽客に最も人気があるのはプールやウォータースライダー。永福橋の下にある公館水岸広場ではサイクリングをしながら新店溪の景色を眺め、夜は美しく光るレーザー水管橋を鑑賞することもできます。

住所：台北市思源街1号 Tel：(02)8369-5145（月曜定休）

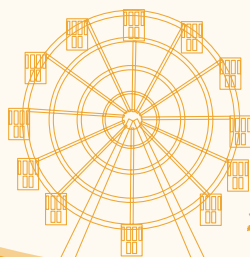


4





NORTH



1

饒河街観光夜市



鉄道と MRT の 松山駅の近くに位置する饒河街観光夜市は、何列も並ぶ露店や屋台が特色です。生活雑貨からファッション、通信機器など、何でも揃っています。伝統的な屋台料理からエスニック料理まで楽しめ、中でも漢方薬入りスベアリスープや胡椒餅などは、行列しないと食べられません。饒河街夜市に来たら、参拝客でにぎわう慈祐宮にお参りしましょう。裏手の基隆河にかかる彩虹橋も人気スポットです。彩虹橋まで行って再び夜市に戻れば、お腹もすいてまた何か食べたいくなることでしょう。



住所：台北市八德路 4 段と松河街の間 Tel：(02)2763-5733

2

ミラマー百楽園観覧車

ミラマー百楽園の巨大観覧車は、台湾で初めてビルの屋上に設置された高さ百メートルの観覧車で、現在、台湾北部で最大の観覧車です。一回転約 17 分間で、48 のゴンドラが設けられ、そのうち二つのゴンドラは床が完全に透明です。昼は大直や内湖の美しい景色が俯瞰でき、夜は台北のきらびやかな夜景が楽しめます。観覧車に配されたネオンが瞬けば、遠くの台北 101 とともに夜空に映え、ロマンチックで幸福なひとときを楽しむことができます。

住所：台北市敬業三路 20 号

Tel：(02)2175-3456



3

台北当代芸術館



台北当代芸術館は、日本統治時代の建成小学校の校舎で、台湾で初めて古蹟を再利用したケースであり、また台北市で唯一かつ最も重要な現代芸術の展示公演の場でもあります。現代芸術の展示のほか、さまざまなワークショップを体験することもできます。周辺にはクリエイティブショップや特色あるカフェも多く、孔子廟から保安宮までの観光ルートにも近いため、文化芸術の日帰リツアーがたっぷり楽しめるエリアです。



住所：台北市長安西路 39 号 Tel：(02)2552-3721（月曜定休）

4



台北之家（光点台北）

中山北路に位置する「台北之家」は、かつて米国大使館でした。2002年に改修されて「台北之家」と名づけられ、世界の芸術映画上映と、クリエイティブ作品の展示空間へと生まれ変わりました。一階の「光点台北」はミニシアター、「光点生活」では映画や音楽、アートをテーマとしたオリジナルグッズを販売しています。一階の「光点カフェ」と二階の「光点紅気球」は食事ができるサロンで、古い建物の中で文化的な雰囲気を楽しむことができます。

住所：台北市中山北路2段18号
Tel：(02)2511-7786（隔月一週の月曜休み）



MRT 中山駅エリア

かつては金属加工や自動車部品を扱う店が軒を連ねていた MRT 中山駅エリアが、今では文学青年が集う場所になりました。MRT の開通とともに発展し、大型デパートが進出しただけでなく、独特の雰囲気のあるカフェやクリエイティブグッズの店、ブティック、ヘアサロン、エスニック料理店、おしゃれな生活雑貨の店などが並んでいます。のんびりと散策すれば、街歩きの楽しさを存分に味わえ、香港やマカオ、シンガポール、マレーシアからも多くの観光客が訪れます。

場所：台北市中山北路2段（南京西路と民生西路の間）



5

6



陳徳星堂

市の古跡に指定されている「陳徳星堂」は台湾北部最大の陳氏宗祠（陳氏一族の祖先を祀る祠）で、清の光緒年間の1892年に建立されました。日本時代に政府に収用され、1911年に大稲埕の現在の場所に再建されました。当時の有名な職人・陳応彬による建築物は、清代の閩南式建築で、最大の特色は前殿の柱に彫られた二匹の龍です。これは台湾最大の「双龍石柱」と言われ、後の台湾の寺廟設計に大きな影響を与えました。毎年、春と冬に催される祖先を祀る儀式「三献礼」は一見の価値があります。今は一部のスペースを幼稚園としており、文化の伝承という役割も担っています。

場所：台北市寧夏路27号 Tel：(02)2556-7150



寧夏観光夜市

2015年に数々の部門でナンバーワンの夜市に選ばれた寧夏観光夜市。日本統治時代にここにロータリーが建設されて屋台街が生まれ、大稲埕の繁栄の歴史を見守ってきました。ここでは「寧夏千歳宴」というイベントが行なわれ、50年以上の歴史を誇る20軒の老舗が、共同で宴会料理を提供します。ここでは台湾の伝統的な屋台料理をほとんど食べられます。魯肉飯（肉そぼろご飯）、麻油鶏、台南碗粿（ライスプディング）、タロイモケーキなど懐かしい台湾の味が堪能できます。

場所：台北市寧夏路（南京西路と民生西路の間）



7



迪化商圈

迪化商圈は大稻埕の迪化街を主要幹線道路とした、台北市内で最もよく保存され、最も歴史的意義をそなえた古い町並みです。清朝末期から第二次世界大戦後まで、迪化商圈は常に台湾最大の問屋街でした。毎年旧正月前になると、迪化商圈は正月商品の買出しで賑わい、大変な人出となります。また、迪化商圈は台湾の庶民料理のパラダイスでもあります。買い物や霞海城隍廟参拝の際には、忘れずにご当地グルメをお楽しみください。

場所：台北市迪化街 1 段



永楽市場

1908 年に開設された永楽市場。当時、迪化街は「永楽町」と呼ばれていたため、かつては「公設永楽町食料品小売市場」という名称でした。当時、台湾最大の輸入布地の卸売り市場だったこの場所は、今も台湾最大の布地の卸売りセンターで、名称は永楽布業商場に変わりました。ビルも建て替えられ、一階は食料品を扱う伝統の市場、二階と三階には各種の布地問屋と縫製工房が集まっています。市場の周辺では昔ながらの庶民の味が楽しめます。

住所：台北市迪化街 1 段 21 号



台北霞海城隍廟

1856 年に建立された迪化街の霞海城隍廟は、あまり大きくありませんが、参拝客が絶えません。毎年、旧暦の 5 月 13 日の祭りは地域の一大イベントで、この行事は大稻埕の歴史と密接に関係しています。この古い廟には 200 もの神像が祀られていて、城隍爺の他に最も有名なのは縁結びの神様、月下老人です。月下老人のおかげで良縁を得て御礼に来るカップルが毎年 6000 組もいるくらいです。いちばん人気があるのは、「幸福の靴」、いわば台北市の「愛のお守り」です。良縁を求める独身の方は一度訪れてみてください。

住所：台北市迪化街 1 段 61 号 Tel：(02)2558-0346



台北迪化街郵便局

迪化街郵便局の歴史は 1915 年に建てられた「台北南街郵便局」に遡り、かつては蔣渭水が電報を打ちに来たと言われます。迪化街は昔「永楽町」と呼ばれていたため、1922 年に「永楽町郵便局」と改名され、後に「迪化街郵便局」と改められました。外観と騎楼（中国南方式のアーケード）はすでに修復されていますが、漆喰の壁や西洋式のデザインに当時の面影が感じられます。台北の思い出に加えたいスポットの一つです。

住所：台北市迪化街 1 段 38 号

Tel: (02)2556-0519





李臨秋故居

1909年に生まれた李臨秋は台湾の流行歌の歴史において重要な人物です。その故居は大稻埕の閩南式家屋の二階にあり、李臨秋の生前の手書き原稿や古い写真、当時の日用品などが展示されています。故居の近くにある大稻埕公園には、芸術家の蒲浩明による李臨秋の彫像があり、定時になると代表作が放送されます。「望春風」を口ずさみながら大稻埕を散策してみましょう。

住所：台北市西寧北路 86 巷 4 号 2 階
Tel：(02)2586-5985



大稻埕埠頭

台北でリパークルーズはいかがですか。大稻埕埠頭へ行けば、一味違う体験ができます。かつて貿易港として栄えた大稻埕埠頭は、今は水辺の景色を楽しむ憩いの場になりました。ここは、クルーズ船ブルーラインの港になっていて、淡水河の風景を眺めたり、河岸をサイクリングしたりして楽しめます。夕方には、夕陽が見られるだけでなく、ライトアップされた昔の帆船の模型や、大道芸人のパフォーマンスが楽しめ、夜の淡水河をクルーズすることもできるのです。

場所：台北市民生西路終点（5 番水門ゲート内）



大稻埕慈聖宮（大稻埕媽祖宮）

大稻埕の慈聖宮は「大稻埕媽祖宮」とも呼ばれ、台湾で最も慕われている民間の守護神、媽祖を祀っています。百年以上前から地元信仰の中心で、霞海城隍廟と台北法主公廟と並び、「大稻埕三大廟」に数えられます。四合院式の建築で、旧暦 3 月 23 日の媽祖の生誕日には、銅鑼や太鼓が打ち鳴らされ、大勢の参拝客でにぎわいます。慈聖宮前の広場には昔ながらの屋台が軒を並べており、その懐かしい味わいが台北っ子に愛されています。

住所：台北市保安街 49 巷 17 号 Tel：(02)2553-9978



蔣渭水記念公園

大稻埕で医師をしていた蔣渭水は、日本統治時代に積極的に知識人を社会運動に導いたことから、市民運動のリーダー、「台湾の孫文」とも称えられています。その民族運動の精神を記念して、錦西公園は蔣渭水記念公園と改名されました。公園の奥にある記念のアーチに蔣渭水の生涯が紹介されていて、その名言である「同胞よ、団結せよ。団結こそ力なり」という言葉がはめ込まれています。その短い人生に貫かれた台湾の精神を感じることができるでしょう。

場所：台北市錦西街 51 号



16



タイペイ・アイ

「タイペイ・アイ」は中山北路の台湾セメントビル士敏ホールにあります。中国の伝統文化である京劇のほか、台湾の特色ある「掌中戲（人形劇）」、台湾原住民族の歌舞、醒獅劇団、民俗雑技などを鑑賞できます。最大の特色は、演者たちが公演の前後や休憩時間に、観客の前でメイクの様子を披露してくれることです。観客も舞台衣装を着て写真を撮ることができ、忘れられない夜を過ごすことができます。



住所：台北市中山北路1段113号（錦州街入口）

Tel：(02)2568-2677（公演時間は月、水、金、土の夜。旧正月期間は休み。公演時間は公式サイトで確認してください）

晴光商圈

60年以上の歴史を誇る「晴光商圈」は晴光市場と双城美食街を含むエリアです。戦後、米軍が台湾に進駐すると、この一帯には米軍クラブや洋食レストランやバーなどが多数でき、また、台北で最も早くから舶来品が売られていた地域でもあり、異国情緒が漂っていました。そして今は台北の美食街となっています。最も有名な「晴光意麵」や車輪餅（大判焼き）、タロイモ入りビーフンや水餃子、牛肉麵、油飯などは、美食家たちを唸らせるおいしさです。

場所：台北市双城街、農安街入口



17

18



行天宮

毎年百万人あまりの参拝客を集める行天宮は、台湾北部で参拝客がいちばん多い廟です。行天宮の台北本宮は1968年に建立されました。主神として「関帝」、つまり三国志の名将・関羽を奉っており、信者は敬意を込めて「恩主公」と崇めています。行天宮で有名なのは「収驚」で、これを受けると心が落ち着くと評判です。また、環境保護の観点から参拝客は、線香もお供え物も用意する必要はなく、合掌して心からお祈りするのが、神に対する最善の礼です。



住所：台北市民権東路2段109号 Tel: (02) 2502-7924

台北市立美術館

1983年に開館した台北市立美術館は、台湾初の現代美術をテーマとする美術館です。台北市立美術館の外観は、中国伝統の四合院の概念を取り入れた現代的なもので、夜間は美しくライトアップされます。土曜の夜は入場無料で8時30分まで開放されます。現代美術を鑑賞した後は、近くに昔の茶商人の別荘を改築した英国チューダー様式の台北故事館もあるので、昼はこちらにも立ち寄ってください。



住所：台北市中山北路3段181号 Tel: (02)2595-7656（月曜定休）



19

台北故事館



基隆河のほとりにある築百年の欧風建築、それが台北故事館です。大稻埕の茶商・陳朝駿が内外の茶商や名士を招待する別荘として 1913 年に建てた洋館で、外観は台湾では珍しい、イギリスのチューダー様式を模した半木造建築です。1998 年に市の古跡に指定され、2003 年に陳国慈氏が資金を出して台北故事館へと変わりました。2015 年 5 月に財団法人郭木生文教基金会が運営を引き継いでから古跡の再利用が行なわれ、台湾の生活や文化を紹介し、古跡再利用を推進するミニ博物館になっています。



住所：台北市中山北路 3 段 181-1 号 Tel：(02) 2586-3677（月曜定休）

21 林安泰古厝民俗文物館

1783 年に建てられた林安泰の旧家は、閩南（福建省南部）式の四合院で、風水に従って建てられています。屋根の棟が燕の尾のように美しく反っているのが特色です。前庭にある月眉池は風水上、宝物を集めて納める形となっていて、外敵から家を守り、防火、給水、温度を下げる効果などの機能もあります。建物の外も中も伝統の建築文化の粋を集めたもので、昔の生活をしのぶことができます。



住所：台北市濱江街 5 号

Tel：(02)2599-6026（月曜、旧正月などの民俗祝日は休館）



台北市孔子廟

春秋時代の孔子を、中国人は「至聖先師」と称え、孔子廟では、孔子の崇高な地位と数千年にわたる儒家思想を崇めています。孔子廟では、孔子の生誕日である 9 月 28 日に、孔子を祭る祭典が行われます。この儀式で最も代表的なのは、宮廷衣装を着た人たちによる伝統の雅楽と踊りの奉納で、多くの外国人が見学に訪れます。祭典の後は「知恵の餅」が配られるので、受験生を持つ大勢の親が積極的に参加し、非常ににぎやかです。



住所：台北市大龍街 275 号 Tel：(02)2592-3934（月曜定休）



23 大龍峒保安宮

保安宮には保生大帝が祀られています。200 年余り前、海を渡ってやってきた開拓移民が疫病に悩まされ、「医神」と呼ばれる保生大帝を故郷から分霊し、台湾で祀ったのが始まりです。その後、信者は保生大帝のご利益に感謝し、木造の小さな廟を改築して正式な宮殿式の廟にしました。1995 年に行った大規模な修復は、文化遺産修復の手本と称えられています。毎年旧暦 3 月 15 日の保生大帝生誕記念日には、「保生文化祭」が行なわれ、伝統と現代を組み合わせた一連のお祭りとして知られています。

住所：台北市哈密街 61 号 Tel：(02)2595-1676



24



国民革命忠烈祠

国民革命忠烈祠は、中華民国が国のために犠牲となった烈士を記念する場で、40 万人以上の革命烈士が祀られています。1969 年に建設され、大殿は北京の故宮太和殿を模して建てられました。左右の文・武烈士祠、および山門前の両側にある石獅子、両側の八角形の鐘楼と鼓楼は、いずれもじっくり観賞する価値があります。忠烈祠は陸海空三軍の儀仗隊が交替で警備しており、毎日正時には儀仗兵の引き継ぎと銃を使った儀式を見ることができ、内外から大勢の観光客が訪れます。

住所：台北市北安路 139 号 Tel: (02)2885-4376



士林観光夜市

士林夜市は、台北市でいちばん規模の大きな夜市で、商店や屋台の数は 500 以上あります。現在は二つのエリアに区画され、一つは士林市場の地下一階フードコート、たくさんの B 級グルメが集まっています。もう一つは陽明映画館を中心とした商店の集中するエリアです。士林夜市には、おいしい屋台料理が数えきれないほど集まっているだけでなく、安くショッピングできる買い物天国でもあります。歩き疲れたら、足裏マッサージで一日の疲れを取りましょう。

場所：大東路、大南路、文林路、基河路とその周辺



25

26



士林官邸

士林官邸は日本統治時代には「士林園芸試験分所」だった場所で、1950 年に改築されて、当時の蒋介石総統と宋美齡夫人の住まいになりました。1996 年には、台北市の生態公園として一般開放されました。バラ園では 3 月から 4 月にかけてバラ展が開かれ、季節によって、蘭展や菊展も開かれます。官邸内の凱歌堂は蒋介石夫妻が毎週日曜日に礼拝を行った場所で、今は多くのカップルが結婚写真撮影に訪れます。

住所：台北市福林路 60 号 Tel: (02)2881-2512、2883-6340 (月曜定休)



国立故宮博物院

士林外双溪に位置する国立故宮博物院には、69 万点あまりの文物が所蔵されています。故宮はもとも 1925 年に北京の紫禁城で設立されました。その後、戦乱を避けて収蔵品は中国大陆各地を転々とし、最終的に台湾に落ち着きました。1965 年に現在の建物が完成し、ここに故宮博物院が置かれました。故宮の至宝といえば、西周の青銅器「毛公鼎」や翠玉白菜、肉形石などが広く知られています。正館は毎週金曜と土曜の夜は 9 時まで開館しているので、夜間の見学もできます。

住所：台北市至善路 2 段 221 号

Tel: (02)2881-2021 (正館は年中無休。詳細はオフィシャルページで確認してください)



27

台北市立天文科学教育館



台北市立天文科学教育館には九つのエリアがあり、古代天文学、宇宙科学、太陽系、銀河、宇宙論などが展示されています。中でも最も人気があるのは宇宙シアターです。180度の半球型スクリーンに立体音響効果が加わり、広大な宇宙を体験できる東南アジア有数の大型シアターです。また 200 メートルの宇宙探検軌道車は、知識と楽しさを合わせたレジャー施設で、宇宙の不思議を感じることができます。



住所：台北市基河路 363 号 Tel：(02)2831-4551（月曜定休）

29 国立台湾科学教育館

国立台湾科学教育館は略して「科教館」と呼ばれます。常設展示エリアではシンプルな手動マシンと体験を通して、電気や磁場、光と音声の原理について知ることができます。生命科学展示エリアでは、透明人間マリーと巨人の「消化トンネルの旅」を通して人体の不思議を実感できます。館内には 3D 体感シアターや 3D バーチャルシアター、空中自転車、科学図書館、科学実験室、体験型の「原型工場」などがあり、世界各地の科学に関する展示も行われていて、科学の面白さを発見できます。

住所：台北市士商路 189 号 Tel: (02)6610-1234（月曜定休）



関渡自然公園

淡水河と基隆河が交差する場所に位置する関渡自然公園。渡り鳥の季節にはバードウォッチングのパラダイスです。周囲には北投の水田が広がり、台北市の「エメラルド」と呼ばれています。この豊かな湿地にはシオマネキやムツゴロウなど無数の動植物が生息し、沼や池、泥地などの自然景観が広がっています。「湿地の保護大使」と呼ばれる小さな水牛やセイタカシギの姿も見られる美しい自然生態にぜひ触れてみてください。

住所：台北市関渡路 55 号（月曜定休）



31 台北市立図書館北投分館

緑豊かな北投公園の中にある台北市立図書館北投分館は、台湾初のグリーン建築の図書館です。木造を主体に鋼材を組み合わせた、ツリーハウスのような建物で、床までの巨大なガラス窓で自然光を取り込んでいます。屋根に設置された 96 枚の太陽光発電パネルは、一般家庭の二、三日分の電力消費量をまかなえます。北投に来たら温泉を楽しむだけでなく、北投図書館で書の香りに触れ、緑豊かな森林浴を楽しんでください。

住所：台北市光明路 251 号

Tel：(02)2897-7682（毎月第一木曜・祝日休館）



32



ケタガン文化館

ケタガン文化館は台湾初の原住民族をテーマにした文化、芸術、および教育研習センターです。四百年あまり前、ここは原住民族のケタガン族が暮らす土地でした。館内では常設展が開かれており、台湾原住民族の歴史と文化が保存されています。色鮮やかなトーテムや独特なスタイルの木彫や石彫などが展示され、私たちを原住民の暮らしへと導いてくれます。北投温泉を訪れたら、原住民文化にも触れてみてください。

住所：台北市中山路 3-1 号 Tel：(02)2898-6500（月曜定休）



北投公園

北投公園は 1911 年に造られた歴史ある公園で、温泉郷特有の風情を味わえます。MRT 新北投支線の新北投駅で降りて道を渡ればすぐ目の前。公園入口には噴水があり、1 時間ごとに噴水ショーが楽しめます。中山路を上って行くと、黒い瓦屋根と大きな窓のある和風木造建築が目に入ります。ここは草書の名人として名高い于右任が避暑で過ごした場所で、建物の入口では、その筆による「梅庭」の文字を鑑賞できます。

場所：台北市中山路 2 号



33

34



北投温泉博物館

1913 年建造の北投温泉博物館は、もとは北投温泉の公共浴場で、当時はアジア最大の温泉浴場でしたが、今は北投地区の歴史や文化を紹介する展示館になっています。展示エリアでは、公共浴場の建設や、地元の人々による建築物の保存運動が紹介されています。そして、ホールでは 1950 年代～1960 年代の台湾語の映画が上映されていて、ロケ地となった北投の当時の姿を見ることができます。日本統治時代の温泉文化について、より深く知ることができそうです。

住所：台北市中山路 2 号

Tel：(02)2893-9981（月曜・祝日休館）



北投公園露天温泉浴場

北投公園露天温泉浴場は 1999 年 12 月に開放されたため、ミレニアムの湯、「千禧湯」とも呼ばれます。敷地約 1000 平方メートルの日本風の設計で、温泉は地熱谷から引かれた「青磺泉」。六つの浴場のうち四つは温泉で、二つは冷水です。ここでは水着着用がルールで、シャワーを浴びてから入ります。北投の湯をぜひ体験してみてください。

場所：台北市中山路 6 号



35

36



地熱谷

北投温泉公園の近くにある地熱谷は、地元の人々から「磺水頭」と呼ばれ、また一年中硫黄の煙が立ちこめていて恐ろしい地獄を思わせるので、「地獄谷」や「鬼の湖」とも称されます。日本統治時代には台湾八勝十二景の一つに数えられていました。ここは世界で唯一、台湾の地名を冠する「北投石」を産します。この石は、台湾の北投と日本の秋田県玉川温泉にしか見られないものです。北投石の自然保護区を訪れば、独特の鉱石についてより深く理解できるでしょう。

場所：台北市中山路終点左側の窪地



北投文物館

1921年に建てられた北投文物館は、日本統治時代には北投で最高級の「佳山温泉旅館」でした。敷地は約800坪でコレクションは五千点近く、三十年來、ずっと台湾の民間芸術や文物を保存展示し、常設展の他に不定期のテーマ展も開いています。また日本の茶道や和菓子などの文化体験も行っています。

住所：台北市幽雅路32号

Tel：(02)2891-2318（月曜定休）



37

38



陽明公園

台北市の北に位置する陽明公園は、一面がススキに覆われていることから、日本統治時代には「草山」と呼ばれていましたが、戦後は、学者の王陽明を記念して「陽明山」と改められました。大屯山山系に属する、標高445メートルの陽明公園は、台湾唯一の死火山地形で、硫黄の噴気孔や温泉があります。園内には、梅、桜、桃、スモモ、ツツジ、ツバキなどの木が植わっており、桜の季節には多くの人々が訪れます。ここを訪れたら、陽明山名物の花時計をバックに記念写真を撮ってください。

場所：台北市湖山路2段







NORTH



台北都心の文化の旅



台北のことをもっと知りたい方は、まず国父記念館で衛兵交代の儀式を見てから台北探索館に行つて台北の概要を理解しましょう。続いて台北 101 に行きます。89 階の展望台からは、台北市の全景を見渡すことができます。その後は、ショッピングや食事が楽しめる信義商圈か、MRT 松山駅近くの饒河街観光夜市で行列のできる庶民の味を楽しんでください。夜になったら誠品書店敦南店で、台北特有の文化的雰囲気味わいましょう。充実した一日の締めくくりに最適の場所です。



芸術を楽しむ知性の旅



台北市は、知性や芸術や華やかさなど、さまざまな表情をもっています。台北市立美術館は、台湾初の現代美術をテーマにした美術館で、外観自体が、まるで大型の彫刻作品のようです。近くの士林官邸は、かつては蒋介石総統夫妻の住まいでしたが、今は花を愛する人々が集う台北市の花園となっています。続いて外双溪の国立故宫博物院に行きましょう。69 万点を超える故宮のコレクションは、じっくり鑑賞する価値があります。夕方になったら、観光客に人気の士林夜市へ繰り出し、食事とショッピングを楽しんでください。





温泉と古跡を訪ねるレトロな旅



昔、地熱谷から上る硫黄の白い煙が、巫女の魔術を連想させたため、ケタガランの人々は、この地を「パタウ」と呼びました。「巫女」という意味です。北投温泉には独特のラジウム泉があり、昔ながらの浴場もあればモダンな温泉ホテルもあり、自由に選べます。温泉料理を堪能したら、北投温泉博物館、梅庭、北投文物館などの歴史ある建物や、グリーン建築の北投図書館に足を運んでください。きっと思い出に残る旅になることでしょう。



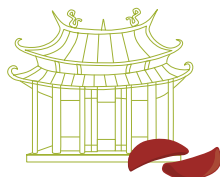
関渡、金色水岸、八里左岸



自転車でゆっくりと台北を旅したい思う方には、関渡、金色水岸、八里左岸の三つのサイクリングロードをおすすめします。関渡自然保護区は自然にあふれ、のんびりとした中にも野趣が感じられます。関渡平原のサイクリング道を過ぎると、関渡宮の堤防沿いは歩道となっていて、中港河の小さな橋のそばの埠頭には漁船が停泊しており、懐かしい港町の風情があります。どうぞ、自転車で楽しんでください。



📢 艋舺の歴史を訪ねる旅



台北市で最も早くから開けた艋舺一帯で、郷土の歴史巡礼の旅はいかがでしょう。龍山寺は万華の信仰の中心で、100あまりの神仏が祀られています。有名な菜草街の青草巷は、龍山寺のすぐ隣にあるので、暑気払いの青草茶を買い、飲みながら広州街を歩いていくと、赤レンガの街並みが続く剝皮寮に着きます。その次に行く艋舺清水巖祖師廟と青山宮は、どちらも歴史的価値と芸術性が高く、市の古跡に指定されているので、じっくりと鑑賞してください。夕食の時間になったら、近くの華西街観光夜市で食事を楽しみ、台北の歴史を感じてください。



📢 温泉に入ろう



北投温泉は台北市の中心から車でわずか30分の距離です。温泉の泉質は、白湯、青湯、鉄湯の三種類があり、台湾で硫黄泉があるのは北投温泉だけです。温泉に入るには注意が必要です。安全と健康のために、心臓血管の病気がある方や飲酒後は入浴を控え、卒倒しないよう15分つかったら、一度湯船から出て休憩してください。



📢 温泉料理



北投は温泉だけではなく、独特の食文化も育んできました。1950年代、酒家文化が最も栄えた当時の「酒家料理」は、酒に合わせるために比較的濃い味付けになっていましたが、時代の変化に伴い、今は中華料理や日本料理を融合した北投特有の味になっています。昔からのスタイルにこだわりつつ、さっぱりとしたヘルシーな料理です。あまりたくさんは食べられないという方は、温泉ラーメンや温泉卵など、気軽に食べられる温泉グルメを味わってはいかがでしょうか。





 台北 MRT

24 時間ホットライン：(02)218-12345 HP：www.metro.taipei

チケット種類

ICトークン
(片道きっぷ)



NT\$20元~65元

1日パス



NT\$150元

24時間パス



NT\$180元

48時間パス



NT\$280元

72時間パス



NT\$380元

悠遊カード (Easy Card)

一卡通 (iPASS)



MRT駅窓口あるいはコンビニで買える。チャージ後すぐに使え、毎回利用時に料金が差し引かれる。電子マネーとしてコンビニまたは特約店で使えるほか、YouBikeの小額利用も可能。

台北観光パスポート (Taipei Pass)



バス或いはMRTの改札機で使用し始めてから、有効使用期間内に何度でも台北MRT、台北市及び新北市のバスに乗車できるパスポート (Taipei Passマークのあるバス)。MRTの各駅で販売。

1日券：NT\$180元 / 2日券：NT\$310元

3日券：NT\$440元 / 5日券：NT\$700元

1日券 (猫空ロープウェイ版)：NT\$350元

 猫空ロープウェイ

24 時間ホットライン：(02)218-12345 HP：www.gondola.taipei

 微笑サイクル YouBike

Tel：1999 (台北市外からは 02-2720-8889) 内線 5855 または (02)8978-5511

HP：www.youbike.com.tw 営業時間：8:00~20:00

MRT 市政府駅サービスセンター (3 番出口外、駅構外)：台北市松仁路 2 号

MRT 忠孝新生駅サービスセンター (5 番出口、駅構外)：台北市新生南路 1 段 56 巷 (地下 1 階)

MRT 劍南路駅サービスセンター (2 番出口、駅構外)：台北市北安路 798 号 (2 階)



藍色水路 (ブルーライン)

台北市政府交通局 HP：www.dot.gov.taipei

藍色公路微旅行 HP：www.riverfun.net (詳しくは各航運会社へ)



台湾好行ー北投竹子湖ライン

起終点駅：MRT 北投駅ー竹子湖

HP：www.taiwantrip.com.tw